公開1

第１学年　音楽科学習指導と評価の案

平成１７年１１月１４日（月）授業者：阿多野　真琴（1年3組教室）

1．題材名　　みんなであわせよう　「とんくるりん　ぱんくるりん」

2．本時の目標　　より美しい合奏にするために、歌と楽器の音量のバランスを考え、主旋律の歌より打楽器の音が大きくなりすぎないように、楽器をやさしく打って演奏することができる。（感受・表現の工夫）

3．本時の評価規準　歌と楽器の音量のバランスを考え、打楽器の音が大きくなりすぎないようにやさしく打って演奏することができる。

4．児童の実態

（学ぶ意欲）　新しい曲を積極的に覚えたり、楽しく身体表現を入れて歌ったり、楽器を正しく使用して演奏したりすることができている。もっとよい表現がしたい、という音楽的な質が高まるような意欲を持たせたい。

（学ぶ力）　中間研究会において仲間との学び合いの中から、課題達成の手がかりを見つけることができるようになってきたが、その学んだことを自分の後半練習に生かせるようにしたい。

（学び得た力）　導入でそれまでに学習してきた歌や演奏を毎時繰り返すことで、音程を正しくとったり、正確にリズムを刻んだりと、一人ひとりの確実な力となってきている。

5．本時の展開（7／１３時）

過程	主　な　学　習　活　動	研究テーマ具現のための手立て
はじまり	1．はじまりのうた 2．あそびましょう 〇わらべうたあそび 「かもつ列車」「おちゃらかほい」「おきゃくさま」「からすかずのこ」 〇リズムあそび 「手をたたきましょう」「ぶんぶんぶん」「きらきらぼし」 〇けんばんあそび 「どんぐりさんのおうち」「おちば」	〈自信を持たせる認め・励まし〉 ・楽しんで童歌遊びをしたり、リズムに乗って伸びやかに歌ったりしている子を認め、意欲につなげるようにする。（研究内容Ⅳ－②）
／つかむ	3．課題見つけ 〇前時の演奏を聴き、打楽器によるリズム伴奏が強く大きく聴こえて、きれいな合奏でないことに気付かせる。 ・楽器の音が強いよ。 ・楽器の音がうるさいなあ。 歌がよく聴こえるように、楽器の音の大きさを考えて合奏しよう。	〈子どもが願いや憧れを持つ導入の工夫〉 ・切実感ある学習課題にするために、自分たちの前時の演奏を聴いて、もっといい曲に仕上げるためにどうしたらよいかを考えられるようにする。（研究内容Ⅲ－②） 〈子どもの実態に応じた指導・援助の工夫〉 ・子どものつまずきに応じて、多くの手立てを持って支援する。（お助けコーナー）（研究内容Ⅳ－①） 子どもの様相　　指導・援助 楽器音の大きさをどうしたらいいのか分からない。　⇨　教師が大きな音で楽器をたたいて歌ったバージョンと小さくしたバージョンを聴かせる。
／ふかめる	・見通しをもつ（練習方法を知る。） 4．れんしゅうしましょう 〇楽器の音の大きさを考えて、自分の席でペアで練習をする。 〇他のペアと交流をする。 （おたすけコーナー） ・歌がよく聴こえるようにするには楽器の音の大きさをどうしたらいいかな？と具体的に考えさせる。（教師が大きな音でたたくバージョンと小さな音でたたくバージョンで演奏を聴かす。） 5．みつけっこ【中間研究会】 〇仲間の演奏から課題達成のためのよいところを見つける。 ・主旋律の歌がよく聴こえるように、打楽器をやさしくそっと打って演奏しているよ。 ・楽器の持ち方がいいよ。	〈中間研究会での高めあいの価値づけ〉 ・中間研究会を通して、課題達成のための仲間の練習方法を知り、後半練習に取り入れられるようにする。（研究内容Ⅲ－④） 〈互いに聴きあう姿の価値付け〉 ・互いに聴きあうことで、仲間が楽器の音の大きさやたたきかたを工夫していることに気づき、自分の演奏に取り入れて高めあえるようにする。（研究内容Ⅳ－②）
／たしかめる	6．れんしゅうしましょう 〇主旋律の歌が聴こえるように打楽器をやさしく打って後半練習をする。 ・打楽器の音の大きさ（たたき方）に気をつけて練習をする。 ・他のペアと交流をする。 7．ミニミニはっぴょうかい 〇仲間の演奏を聴いて今日の課題と比べてよかったところを見つける。 8．ふりかえろう 9．おわりのうた	〈１時間の学習の高まりを実感できる学習の振り返りの工夫〉 ・ミニミニ発表会の場を設けて、１時間の学習の成果を発表し、また仲間の演奏を聴いてよさを認めあう。（研究内容Ⅲ－⑤）